

「パートナーシップ構築宣言」

当金庫は、サプライチェーンの取引先の皆様や価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築するため、以下の項目に重点的に取り組むことを宣言します。

1. サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を超えた新たな連携

直接の取引先を通じてその先の取引先に働きかける（「Tier N」から「Tier N+1」へ）ことにより、サプライチェーン全体での付加価値向上に取り組むとともに、既存の取引関係や企業規模等を超えた連携により、取引先との共存共栄の構築を目指します。その際、災害時等の事業継続や働き方改革の観点から、取引先のテレワーク導入やBCP（事業継続計画）策定の助言等の支援も進めません。

（個別項目）

○企業間の連携

- ・お客様の課題やニーズをお伺いし、多角的な視点で経営課題の解決に向けたサポートを行います。また、外部専門家や外部機関等とも協働し、お客様のライフステージや事業の持続可能性等を見極め、最適なソリューションを提供することで事業の発展をサポートしていきます。

○IT・デジタル化実装支援

- ・デジタルの切り口での解決策の提案、ITツールの導入・定着に向けた支援により、お客様の業務効率化や生産性向上をサポートします。

○専門人材マッチング

- ・当金庫は「有料職業紹介事業」の許可を厚生労働省より取得し、2021年2月より「人材紹介業務」の取扱いを開始しました。ニーズに応じた適切な人材の紹介やマッチングに取り組むことにより、お客様の成長や生産性向上をサポートしていきます。

○グリーン化の取組

- ・当金庫では、「脱炭素化への取組み」を持続可能な社会実現のための重要課題と認識し、2022年11月、「きりしん脱炭素化宣言」を公表しました。セミナー開催による情報発信を行うとともに、CO2排出量算定支援会社との連携や融資商品の創設など、地域全体のカーボンニュートラルに向けた支援を実施します。

2. その他

当金庫は、創立100周年を迎えるにあたり掲げた「ALL FOR SMILE ～すべては笑顔のために～」のスローガンのもと、お客様の笑顔と明るい未来の実現を目指しています。これからも様々なステークホルダーの皆様と連携を図りながら、サプライチェーン全体の共存共栄および持続可能な社会の実現に取り組んでいきます。

2023年10月1日

桐生信用金庫

理事長 津久井 真澄

（備考）

- ・本宣言は、（公財）全国中小企業振興機関協会が運営するポータルサイトに掲載されます。
- ・主務大臣から「振興基準」に基づき指導又は助言が行われた場合など、本宣言が履行されていないと認められる場合には、本宣言の掲載が取りやめになることがあります。